

登録コード	E2840900	開講年度	2026				
授業科目	保育学基礎					担当教員	吉澤 千夏
英文授業名	Early Childhood Care and Education					副担当	水口 崇・沖嶋 直子
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	2・3年生
講義室				授業形態	講義・実技	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ，2 5 E カリ，2 4 E カリ，2 3 E カリ，2 2 E カリ，2 1 E カリ，2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				中学校家庭科及び高等学校家庭科の教員として，教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身に着けるとともに，実践を通して涵養できるようになる。		
	教育活動を支え，実現する上で不可欠な専門的知識・技能				中学校家庭科及び高等学校家庭科の教員として，教育活動を行う上で必要不可欠な専門的知識と技能を身に着けるとともに，学んだ知識と技能を実践しながら，それらを振り返り，常に改善し，磨き上げていこうとすることができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	「保育」を学ぶことの意味を理解するとともに，子どもの発達とそれにかかわる家族・家庭などの役割について考える。さらに，子どもの育ちと環境の関連について学ぶ。						
(5)授業計画	第 1 回：保育を学ぶということ【吉澤，遠隔等，4/15 5時限】 第 2 回：家庭科教育における保育【吉澤，遠隔等】 第 3 回：子どもの発達：生殖から子どもの誕生まで【水口，対面】 第 4 回：子どもの発達：子どもの心身の発達 1：乳幼児の精神発達【水口，対面】 第 5 回：子どもの発達：子どもの心身の発達 2：乳幼児の運動・言語・知能【水口，対面】 第 6 回：子どもの発達にかかわる家族・家庭の役割 1：愛着と自立・自律【吉澤，遠隔等】 第 7 回：子どもの発達にかかわる家族・家庭の役割 2：親の関わりと人格形成【吉澤，対面】 第 8 回：子どもの生活する姿を捉える：観察【吉澤，対面】 第 9 回：子どもの生活と遊び 1：乳幼児の衣・食・住【吉澤，対面】 第10回：子どもの生活と遊び 2：乳幼児にとっての遊びの意味と価値【吉澤，対面】 第11回：子どもの生活と遊び 3：絵本の読み聞かせの実際【吉澤，対面】 第12回：子どもの育つ環境 1：家庭保育と集団保育【吉澤，対面】 第13回：子どもの育つ環境 2：子どもにかかわる法・社会制度の理解【吉澤，対面】 第14回：まとめ：保育を学ぶことの意義 授業アンケート実施【吉澤，対面】 定期試験【吉澤，対面】 集中講義に伴う受講生の負荷軽減の観点から，全14回の授業の内，7回を遠隔（オンライン）等により実施します。遠隔等での授業の実施方法は，eALPSに掲載します。 なお，シラバス登録〳切時には，全ての日程の確定が出来ていないため，確定次第eALPSに掲載します。遠隔ならびに水口先生の授業日は，水曜日4あるいは5時限のうち、2年生の臨床経験科目が入っていない日を予定しています。						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は，授業の達成目標に基づき次のとおりである。 ・ 授業への参加状況により，自己啓発に努めることができるかを測る（10%） ・ レポートにより，みずからが考え，みずからの意見を構築できるかを測る（30%） ・ レポート課題により，保育学についての基礎的な知識・技能を備え，それらを応用できるかを測る（60%） ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	(a)家庭科教育と保育への理解，(b) 乳幼児の発達についての理解，(c)子どもの育ちと家族・家庭の関係に関する理解，（d）子どもの生活と遊びに関する理解において，(a)～(d)の項目について基礎的な習得ができていれば「水準にある」，どれか 1 項目について卓越した習得が認められれば「かなり上にある」，どれか 2 項目について卓越した習得が認められれば「やや上にある」，全項目について卓越した習得が認められれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	授業内容にかかわる発問を毎回行うので，それらを踏まえて事前・事後の取り組みを行い授業に臨むこと。この授業は，90 時間の学修を必要とする。従って，60 時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	・ 全回出席すること。理由の如何を問わず，欠席回数が多く授業の達成目標に到達することができない場合には，単位の認定に至らないので注意すること。 ・ 子どもに関わる様々なニュースや出来事に関心を持ち，授業に臨むこと。 ・ 本講義においては，緊急時または担当教員の許可を得た場合を除いて，携帯電話・スマートフォン等、携帯情報端末等の使用は認めない。 ・ 授業担当者の都合により，授業の順番が変わる可能性がある。実際の日程は，初回授業日までに eALPS で連絡する。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	吉澤先生への質問，相談などがある場合には，対面の場合は授業の前後等に，遠隔や吉澤先生が教育学部キャンパスにいらっしやらない期間は沖嶋（okishima_naoko@shinshu-u.ac.jp）まで。 水口先生への質問や相談は，水口先生（mizutaka@shinshu-u.ac.jp）までお願いします。						

【教科書】	指定しない
【参考文献】	適宜，紹介等を行う。